

日本原燃株式会社 再処理施設（2007年度第2四半期）

測定対象	採取		測定		測定値 ^{注1}			比較対照区域	備考	平常の変動幅 ^{注1,注2}
	採取点	頻度	対象	頻度	対象	最小～最大	単位			
海水	むつ小川原港 港湾区域内 むつ小川原港港湾 区域北側境界付近 むつ小川原港港湾 区域南側境界付近	1回/3ヵ月	γ核種	1回/3ヵ月	³ H	ND	mBq/L		採取日:2007.7.24	ND
					⁹⁰ Sr	ND				ND~3
					⁶⁰ Co	ND				ND
					¹⁰⁶ Ru	ND				ND
					¹³⁴ Cs	ND				ND
					¹³⁷ Cs	ND				ND
					¹⁴⁴ Ce	ND				ND
					¹⁵⁴ Eu	ND				ND
					Pu(α) ^{注3}	ND				ND
					Pu(α) ^{注3}	ND				ND
海底土	放出点付近1地点 東約1km地点1点 西約1km地点1点 南約1km地点1点 北約1km地点1点 南約3km地点1点 北約3km地点1点 物見崎沖1点	1回/6ヵ月	γ核種	1回/6ヵ月	⁹⁰ Sr		Bq/kg・乾		第1四半期報告済 第3四半期報告予定	ND
					⁶⁰ Co					ND
					¹³⁴ Cs					ND
					¹³⁷ Cs					ND
					¹⁴⁴ Ce					ND
					¹⁵⁴ Eu					ND
					Pu(α) ^{注3}					0.11~0.75
²⁴¹ Am		ND~0.30								
²⁴⁴ Cm		ND								
魚類	六ヶ所村 前面海域1地点	1回/3ヵ月	γ核種	1回/3ヵ月	³ H	ND	Bq/L		採取日:2007.8.24 対象:ヒラメ	ND
					¹⁰⁶ Ru	ND				ND
					Pu(α) ^{注3}	ND				ND
貝類	六ヶ所村 前面海域1地点	1回/3ヵ月	γ核種	1回/3ヵ月	¹⁰⁶ Ru	ND	Bq/kg・生		採取日:2007.7.30 対象:ムラサキガイ	ND
					Pu(α) ^{注3}	ND				ND~0.007
海藻類	六ヶ所村 前面海域1地点	1回/3ヵ月	γ核種	1回/3ヵ月	¹⁰⁶ Ru	ND	Bq/kg・生		採取日:2007.8.7 対象:コンブ	ND
漁網	六ヶ所村 前面海域1地点	1回/3ヵ月	表面線量率	1回/3ヵ月	γ線	ND	nGy/h		設置期間: 2007.6.12~2007.9.13	ND
			吸収線量率		β線	ND	nGy/h			ND~50

注1) ND: 定量下限値未満を示す。

注2) 「平常の変動幅」とは、過去の測定結果(1998年度第3四半期~2006年度)のうち、再処理施設の平常運転に伴う変動を含めない最小値から最大値である。

ただし、上記の期間と異なる測定項目は以下のとおり。

- ・海底土のPu(α)、²⁴¹Am、²⁴⁴Cm及び海産物のPu(α)は2002年度~2006年度までである。
- ・漁網のγ線及びβ線は、2005年度~2006年度までである。

注3) Pu(α): ²³⁸Puと²³⁹⁺²⁴⁰Puの合計値を示す。

日本原燃株式会社 再処理施設 (2007年度第2四半期)

測定対象	採取		測定		測定値 ^{注1}			比較対照区域	備考	平常の変動幅 ^{注1,注2}			
	採取点	頻度	対象	頻度	対象	最小～最大	単位						
空間放射線	線量率	敷地内9地点	連続	γ線	連続	γ線	モニタリングポスト	13～40 ^{注3}	nGy/h	/	7～81 ^{注3}		
		敷地外3地点					モニタリングステーション	19～51 ^{注3}				7～93 ^{注3}	
	積算線量	敷地内1地点	連続	γ線	1回/週	γ線	γ線	8.7～10.5	μSv/7日	/	・設置期間: 2007.7.2～2007.10.1	6.2～12.9	
		敷地内9地点 敷地外14地点						γ線			1回/3ヵ月	γ線	87～108
空気	浮遊じん	敷地内9地点	連続	全α放射能 全β放射能	連続	全α放射能 全β放射能	7.0 ^{注3} 4.8 ^{注3}	Bq/m ³	/	・当該四半期を通じての 最大値	16 ^{注3} 8.7 ^{注3}		
		敷地外3地点		全α放射能 全β放射能		1回/週	全α放射能 全β放射能			*～0.18 *～0.57	mBq/m ³	・採取期間: 2007.7.2～2007.10.1 ・測定値が計数誤差の3倍以下の場合検出限界以下とし、「*」で表示した。	*～0.37 *～1.2
		敷地内9地点 敷地外3地点		¹⁰⁶ Ru Pu(α) ^{注4}		1回/3ヵ月	¹⁰⁶ Ru Pu(α) ^{注4}			N D N D	mBq/m ³	・採取期間 敷地内: 2007.7.1～2007.10.1 敷地外: 2007.7.2～2007.10.1	N D N D
	気体状ベータ放射能濃度	敷地外3地点	連続	⁸⁵ Kr	連続	⁸⁵ Kr	ND～4 ^{注3,注5}	kBq/m ³	/		N D ^{注3}		
	ヨウ素	敷地外3地点	連続	¹³¹ I	1回/週	¹³¹ I	N D	mBq/m ³	/	・採取期間: 2007.7.2～2007.10.1	N D		
	大気中湿分	敷地外3地点	連続	³ H	1回/月	³ H	N D	mBq/m ³	/	・採取期間: 2007.6.29～2007.9.28	N D		
飲料水	敷地外4地点	1回/3ヵ月	1回/3ヵ月	³ H	³ H	N D	Bq/L	/	・採取日: 2007.7.3, 2007.7.5	N D			
				⁹⁰ Sr	⁹⁰ Sr	N D	N D						
				¹⁰⁶ Ru	¹⁰⁶ Ru	N D	N D						
				¹³⁷ Cs	¹³⁷ Cs	N D	N D						
				Pu(α) ^{注4}	Pu(α) ^{注4}	N D	N D						
陸土	敷地内1地点 敷地外3地点	1回/年	1回/年	⁹⁰ Sr	⁹⁰ Sr	1.5～5.4	Bq/kg・乾	4.6	1.5～9.4				
				¹⁰⁶ Ru	¹⁰⁶ Ru	N D	N D						
				¹²⁹ I	¹²⁹ I	N D	N D						
				¹³⁷ Cs	¹³⁷ Cs	8～24	7	8～37					
				Pu(α) ^{注4}	Pu(α) ^{注4}	0.29～0.82	0.26	0.23～0.91					
				²⁴¹ Am ²⁴⁴ Cm	²⁴¹ Am ²⁴⁴ Cm	0.10～0.25 N D	0.10 N D	0.09～0.33 N D					
	湖底土	敷地外1地点	1回/年	1回/年	⁹⁰ Sr	⁹⁰ Sr	/	/	ND～0.5				
					¹³⁷ Cs	¹³⁷ Cs	/	/	5～11				
					Pu(α) ^{注4}	Pu(α) ^{注4}	/	/	0.97～1.3				
					²⁴¹ Am ²⁴⁴ Cm	²⁴¹ Am ²⁴⁴ Cm	/	/	0.34～0.42 N D				
陸上植物	敷地外3地点	1回/年	1回/年	¹⁴ C	¹⁴ C	/	Bq/g・炭素	/	0.23～0.25				
				¹⁰⁶ Ru	¹⁰⁶ Ru	/	/	N D					
				Pu(α) ^{注4}	Pu(α) ^{注4}	/	/	N D					
	根菜	敷地外2地点	1回/年	1回/年	¹⁰⁶ Ru	¹⁰⁶ Ru	N D	Bq/kg・生	/	N D			
					Pu(α) ^{注4}	Pu(α) ^{注4}	N D	N D	N D				
	葉菜	敷地外1地点	1回/年	1回/年	¹⁰⁶ Ru	¹⁰⁶ Ru	/	Bq/kg・生	/	N D			
Pu(α) ^{注4}					Pu(α) ^{注4}	/	/	N D					
畜産物	牛乳	敷地外4地点	1回/3ヵ月	¹⁰⁶ Ru	1回/3ヵ月	¹⁰⁶ Ru	N D	Bq/L	/	・採取日: 2007.7.3	N D		

注1) N D: 定量下限値未滿を示す。

注2) 「平常の変動幅」とは、過去の測定結果(1998年度第3四半期～2006年度)のうち、再処理施設の平常運転に伴う変動を含めない最小値から最大値である。

ただし、上記の期間と異なる測定項目は以下のとおり。

・積算線量(測定頻度: 1回/3ヵ月)は、2003年第2四半期～2006年度までである。

・浮遊じん及び陸上植物のPu(α)、陸土のPu(α)、²⁴¹Am、²⁴⁴Cmは、2002年度～2006年度までである。

注3) 1時間平均値を示す。

注4) Pu(α): ²³⁸Puと²³⁹⁺²⁴⁰Puの合計値を示す。

注5) モニタリングステーションにおける測定実績は以下のとおりであった。

モニタリングステーション老部川局において、9月21日の6時～7時の1時間平均値で3kBq/m³が測定された。他の期間は全てNDであった。

モニタリングステーション二又局において、9月11日の13時～14時の1時間平均値で3kBq/m³が測定された。他の期間は全てNDであった。

モニタリングステーション室ノ久保局において、9月12日の14時～15時の1時間平均値で4kBq/m³が測定された。他の期間は全